

目次

.....
【1】 --- 教員コラム第 13 弾 第 6 回 「書庫の壁際の机—大学図書館の思い出」
公立大学法人 / 金田章裕理事長

.....
【2】 --- 本学発の論文新着速報 (2019 年 9 月・10 月分)

.....
【3】 --- [11/13(水)提出期限] 令和元年度学生用図書のおすすめのお願い

.....
【4】 --- [11/20(水)開催] 英語発音講座
今さら聞けない英語発音の基礎～国際学会でのスピーチ力向上のために

.....
【5】 --- [同日開催] ProQuest Health & Medical Collection 講習会

.....
【6】 --- Elsevier 社 ScienceDirect 文献ダウンロード数の制限について

.....
[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム第 13 弾 第 6 回
「書庫の壁際の机—大学図書館の思い出」 公立大学法人 / 金田章裕理事長

.....
学生・大学院生時代から現職教員の時期にかけての長い間、当時の京都大学文学部史学科
閲覧室 (我々は単に「史閲 (しえつ)」と呼んでいた) が情報と知識の源泉であった。「史閲」
は、地理学を専攻して史学科に属していた私にとって、最も重要な拠点でもあった。そのこ
ろ文学部にはほかに、文学部閲覧室 (ぶんえつ)、哲学科閲覧室 (てつえつ) があり、それ
ぞれの閲覧室の掛 (かかり) のカウンター前から、学生証を預けて自由に書庫へ入ることが
できた。現在は文学部の建物も新しくなってこれら三つが統合され、文学部図書館となっ
ているが、自由に書庫に入ることができる点は今も同様である。

書庫に並ぶ書架には、歴史学・地理学の専門雑誌や専門図書がぎっしりと並んでいた。卒
業論文や修士論文をはじめ、いかなる論文を書こうとする場合にも、方法論・研究史や個々
の対象を分析した先行論文があって、それらの関連論文を読むことが、まず研究の入り口で
あった。書庫と閲覧室が近く、必要なだけ書物を持って出て、掛のカウンターで、用紙に書
名・番号と自身の署名を記すだけで閲覧室の机で広げることができた。何よりもありがたか

ったのは、書庫内の書架には、テーマの類似した専門書が集積されていて、関連文献に目を通すのがきわめて容易であったことである。

このころ「文閲」や「哲閲」へは時々足を運んだが、後のように、日ごろ目にしない書物をもとめて附属図書館へ通うことは稀であった。とりわけ学生・院生の時代、必要図書はほとんどが「史閲」に集積していたからであり、書庫と閲覧室が近い便利さもあって、まず「史閲」へ向かうのが習性となっていた。

オーストラリア研究を始めてから、オーストラリアでの主たる研究拠点としたのがメルボルン大学であった。すべての図書が大学中央図書館に集められていたので、客員研究員として広い研究室はもらっていたが、大学にいる時はほとんど毎日そこへ通った。一つには求める資料・書物が集積していたことであり、書庫の中を歩けば宝の山に出会うことができた。加えてもう一つの理由は、書庫の中の壁際に点々と机と椅子が配置されていたことであった。書架から関心のある書物を引き出し、これらの机で読むことができた。帰る時は、そのまま机の上に放置しておけば、掛の人（多くは学生アルバイト）が書架へと戻してくれた。ある時は史料を求めて、夏休み（オーストラリアは冬）を利用してメルボルン大学へ行き、この図書館の壁際の机で一つ論文を仕上げたこともあった。

ケンブリッジ大学に一年ほどいた時にも、地理学教室の図書室には主要雑誌がそろっていて、午前中はそこか研究室にいたが、午後はほとんど大学中央図書館へ通った。当時研究テーマとしていた土地計画、とりわけ英国起源のタウンシップに関連する図書・資料は多くの場合、中央図書館で見つかった。この図書館には中央に書架列があり、窓際には机と椅子が並べられていた。ここでも書架から目的の書物を近くの机に持ち出して読むことができた。やはり用が済んだら放置しておけば片づけてくれた。ところが途中であった場合、机に置いて所定の用紙を挿しておく、そのままにしてくれていた。翌日は同じ机で、前日の続きにすぐ取り掛かることができた。

今から新しい研究課題に挑戦する機会があるとは思えないが、もしそのような状況ができることがあれば、まず図書館の書庫とその壁際の机に戻りたいと思う昨今である。

※図書館メール News 第 400 号を記念し、京都府公立大学法人金田理事長に寄稿いただきました。過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- 本学発の論文新着速報（2019年9月・10月分）

京都府立医科大学発の学術論文(PubMed 収載)のうち、2019年9月・10月発行分のものについて、お知らせします。(153件)

◆ ↓ 次の URL をクリックしてください ↓ ◆

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/myncbi/1FS3cNp9hWvAN/collections/59032946/public/>

こちらの情報は以下の抽出条件のもと月に1回お知らせしています。

- ①直近2ヶ月分
 - ②論文の著者が本学所属
- (筆頭著者でない場合には抽出されないこともあります。)

【3】 --- [11/13(水)提出期限] 令和元年度学生用図書のおすすめのお願い

.....

図書館が購入する学生用図書選定の参考とするため、各教室・部門(看護学科は各領域)あてに令和元年度推薦をお願いしています。すでにご回答いただいた皆様、ご協力ありがとうございます。まだ回答がお済みでないご担当様、期限までによりしくお願いします。配布資料等詳細は「[令和元年度学生用図書の推薦について](#)」をご覧ください。

※学内専用のため、パスワードが必要です。

■資料

- ・令和元年度学生用図書の教室推薦について(依頼)
- ・推薦図書記入シート(回答様式)

■回答方法

- 1.推薦図書記入シートをダウンロードしてご記入ください。
- 2.各教室・部門(各領域)で取りまとめ、[メール](#)で提出をお願いします。
- 3.推薦図書がない場合でも、その旨メールで連絡をお願いします。

■提出期限：令和元年11月13日(水)

■回答・連絡先 図書担当：libseiri@koto.kpu-m.ac.jp

※平成30年度購入図書一覧は、[受入図書リスト2018](#)で学内公開しています。

【4】 --- [11/20(水)開催] 英語発音講座

今さら聞けない英語発音の基礎～国際学会でのスピーチ力向上のために

.....

- 日時：2019/11/20(水)18:00-19:00<申込不要>
- 場所：附属図書館 2階 AV ルーム
- 講師：小林隼氏(ProQuest 日本支社トレーニング&コンサルティングパートナー)
- 対象：本学教職員、大学院生、学部学生ほか
- チラシ：[こちら](#)

国際学会などでのスピーチに活かせる英語発音の基礎を学べる講座です。英語学習のコツの一つに、ネイティブ・スピーカーを見つけてコピーする方法があります。特に発音は、リズム・テンポ・イントネーションが大切で英語はすべての単語にストレスがあり、文章に強く発音される単語の存在を知るだけでも違ってきます。

ケンブリッジ大学にて教育学の修士課程を修了し、「ケンブリッジ英語検定プロフィシエンシーレベル」を保有している日本人講師が、英語のコツを親切に指導します。

【5】 --- [同日開催] ProQuest Health & Medical Collection 講習会

- 日時：2019/11/20(水)16:00-17:00<要申込>
- 場所：附属図書館 1階情報検索室
- 講師：小林隼氏(ProQuest 日本支社トレーニング&コンサルティングパートナー)
- 対象：本学教職員、大学院生、学部学生ほか
- 申込方法：[メール](#)または内線(9400)で、所属と名前をご連絡ください。
※件名に「ProQuest 参加申込」とご記入ください。
- 質問・連絡先 講座担当：liblec@koto.kpu-m.ac.jp
- チラシ：[こちら](#)

ProQuest データベースには 4000 誌以上の電子ジャーナル、100 誌以上の電子ブック、MEDLINE が搭載されています。学位論文や近接検索機能など PubMed と使い分けて効率よく文献を探しましょう。

※端末を使用します。準備の都合上、事前申込をお願いいたします。

【6】 ---Elsevier 社 ScienceDirect 文献ダウンロード数の制限について

Bot 攻撃などから [ScienceDirect](#) 電子ジャーナル/電子ブックを保護するために、一括ダ

ダウンロードに関して下記の制限が 2019 年 9 月より適用されています。

- 1.検索結果画面からのダウンロードは、1 日に 100 件が上限として設定されています。
- 2.ジャーナルの巻号ページからのダウンロードは 1 日に 250 件、または 10 号の制限があります。

詳細は[こちら](#)。

Elsevier 社に限らず、各出版社では利用規約上、文献の大量ダウンロードを禁止しています。違反行為があった場合、提供元との契約が停止されるおそれがあります。「[電子コンテンツ使用の注意](#)」を参考に、ブラウザの先読み機能の無効化などを実施いただき、適正な御利用をお願いします。

[Book Review]

西野精治著『スタンフォード式 最高の睡眠』サンマーク出版（2017 年）

気持ちよく睡眠し、スッキリ目覚めるには、「眠り始めの 90 分が睡眠の質を決定」「眠りのスイッチ=体温と脳」「就寝 90 分前の入浴」「いつものベッド、時間、パジャマ、照明、室温」「覚醒と睡眠は表裏一体」「覚醒のスイッチ=光と温度」などが重要のようです。

それと当然のことですが皆さん、快適な睡眠のために今日は早く帰りましょう。(M.N)
(京都府立図書館所蔵 K-Libnet で貸出が可能です。)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4763136011>

※「K-Libnet」は 2018 年 4 月から始まった京都府内公共図書館等との相互貸借サービスです。詳しくは[こちら](#)をどうぞ

図書館メール News 第 400 号 2019.11.8 発行 (隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>